

明星院（みょうじょういん）は、真言宗智山派の寺院です。本尊は虚空蔵菩薩。真言宗関東十一談林の1つ。

室町時代のはじめに隆尊によって開かれ、五大山興願寺と称され、倉田村を寺領としていました。

さらに詳細は

明星院 (桶川市)-Wikipedia <https://w.wiki/RJnC>

を参照して下さい。



「明星の井戸」があり、明星院の名前は、この井戸に由来するそうです。天女が明け方の雲の中に立ち、手から伸びた1本の糸を垂らしそれが井戸まで続いているのを村人が見たという伝説がある。井戸から明星が飛び出したといういい伝えもあります。

明星院の裏手には倉田の大カヤがあります。開山の隆尊敬上人が修行のうちに枝を地にさしそれが根づいて育ったとの事で樹齢600年高さ31.4m幹回り5.7mの大木です。

